

# 高齢者差別の後期高齢者医療制度の撤廃を求める請願

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

08年4月から強行された後期高齢者医療制度には、「少ない年金からこんなに保険料をとられたら生きていけない」「長生きするなということか」と全国で怒りの声が沸き起こっています。

医療費削減を目的にした高齢者いじめのこの制度は、すでに参議院で野党提出の廃止法案が可決され、衆議院で継続審査となっています。

政府は、一時しのぎの「見直し」で悪法の生き残りをねらっていますが、とんでもありません。

この制度は75歳以上の高齢者を国保や健保から追い出し、囲いこみ、①これまで負担のなかった扶養家族を含め一人ひとりから保険料をとりたてる、②受けられる医療を制限し差別する「別建て診療報酬」を設ける、③保険料は年金から天引きし、2年ごとに引き上げる、④保険料を払えない人からは保険証をとりあげる、などというものです。憲法違反の差別医療制度そのものであり、廃止する以外ありません。70～74歳の窓口負担の2割への引き上げも、きっぱり中止すべきです。

そもそも病気になりがちな高齢者の医療については、長年の社会貢献にふさわしく国と企業が十分な財政負担をおこない、高齢者が安心して医療を受けられるようにする必要があります。

したがって、以下の点を強く求めるものです。

## 請願項目

- 一、後期高齢者医療制度の撤廃法案をすみやかに成立させること。
- 一、70～74歳の窓口負担2割への引き上げは中止すること。

氏名	住所

取扱団体 (日本共産党 )